

2025 年度 利晶学園幼稚園 学校評価

1. 本園の教育目標

学園の理念である「夢と高い志、挑戦、そして未来創造」に基づき、“遊び・発見・学びの根っこを育てよう”に取り組めます。

教育方針

- ・日常生活の正しい習慣を身につける。
- ・身近な集団生活に適応できる規律と勇気を持たせる。
- ・まわりの自然や社会に関心を持たせる。
- ・思った事を素直に話し、人の話をよく聞きわかるようにする。
- ・自由な表現活動を重視し創造性を豊かにする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・正課授業の安定化を図ると共に、課外教室を幅広く周知し、多様な経験を通して『学びの根っこ』を育てていきます。
- ・「しつけの三ヶ条」
“朝のあいさつが出来るように”
“名前を呼ばれたら「ハイ」と返事のできるように”
“履物を自分できっちりそろえるように”
- ・立腰や茶道を通して日常生活の基本的な習慣の育成に役立てます。
- ・茶道は裏千家淡交会より講師を招いての指導とさかい利晶の杜で茶の湯体験を通して、子ども達自身が自分で心と体を整える力をつけさせます。
- ・国際コースでは、英語を母国語のように聞き取り、理解できる力を育むことを目的として、GrapeSEED や Little SEED といった専用教材を使用しています。ネイティブ講師のもと、楽しく学びながら英語の言語能力を段階的に養っていきます。さらに、国際交流プログラムを通じて世界中の子どもたちと交流する機会を設け、英語を実際に使うアウトプットの場を提供します。
- ・スクールカウンセリングを実施し、保護者に子育ての悩みを相談する場を提供し、幼稚園と家庭で園児をサポートする体制を構築します。
- ・幼稚園・小学校・中学校・高校までの一貫した総合学園として教育連携が実現しています。総合学園のメリットを活かした交流により、本園でしか経験できないワクワク・ドキドキな本物の教育を提供していきます。(吹奏楽の演奏会・ダンス部のダンス披露、インターアクトクラブの生徒と園児との交流、保育体験、学園小交流会)
- ・利晶学園小学校との連携をさらに強化し、小学校の先生による知育教室、交流会等、具体的な取り組みを更に進めていきます。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	取 組 状 況
幼稚園行事は、楽しく充実している。	・わくわくデー・運動会・発表会と学期ごとの大きな行事では、子どもの成長が見られ、各学年の発達段階を知る機会となった。 ・学園内交流では、さまざまな活動を通して、子どもたちはお兄さんやお姉さんたちと関わる楽しさや安心感を実感し、人との関わりを重ねる中で、社会性や思いやりの心も養われた。 ・園名変更を記念して、大阪狭山市文化会館（さやかホール）にて「RISHO フェスタ」を開催した。利晶学園大阪立命館中学高等学校の吹奏楽部による演奏会や、ダンス部によるパフォーマンスが披露され、最後には参加者全員で「大阪・関西万博テーマソング」に合わせてダンスを行い、盛会のうちに終えることができた。 子どもたちにとっては、本物の音楽や表現に触れる貴重な機会となり、感性や憧れの気持ちが育まれ、また親子で参加することで交流が深まり、学園内の連携を実感できる有意義な取り組みとなった。 ・異年齢交流保育を行うことで幼稚園生活の中で年下の園児は年長児への憧れを持ちながら、協調性や自主性を培うことができている。 ・移動動物園を実施し、ヒツジ・うさぎ・ポニーなどの動物と直接触れ合う体験を通して命のぬくもりや大切さについて学ぶ貴重な機会となった。
国際コース（GrapeSEED）・スイミングプール・体育指導・イングリッシュタイム・リトミック・茶道・朗読など保育カリキュラムに満足している。	・国際コースのカリキュラムでは、ネイティブ講師とともに、先生や友だちとさまざまなアクティビティを通して楽しくレッスンに取り組む中で、「話せる英語」が身についてきている。また、オンラインで海外園の子どもたちと触れ合うことを通して好奇心の広がりを目指すプログラム「せかいタッチ」では、英語だけでなく海外の習慣や生活について学ぶ機会も設けられていて、さらに、さまざまな国の文化に触れることで、多様性を受け入れる心も育まれている。 ・保育内容では、本園でしかなかなか体験できないことが取り入れられており、様々な分野に興

	味を持つきっかけとなっている。 ・スイミングプールが通年あることで良い教育効果をもたらしている。 ・茶道（年長児は利晶の杜での茶の湯体験も行う）では、堺の特色ある歴史や文化に触れることができている。落ち着いた雰囲気の中で礼儀作法を学び、日本の伝統文化への理解を深めるとともに、相手を思いやる心や丁寧に物事に向き合う姿勢も育まれている。
配布文書やホームページ・コミュなび（アプリ）掲載、学級通信により園生活の様子がわかる	・配布文書（園だよりなど）をホームページ“保護者サイト”とコミュなび“ぎゅっとなび”に掲載することで資源ごみの削減（ペーパーレス化）の観点から評価されている。 ・ホームページの「りしょうキッズだより」やインスタグラムでは、定期的に投稿を行うことで閲覧回数が増加している。保護者の方々からは、「幼稚園の様子がよく分かり嬉しい」と喜ばれている。今後も、個人情報の取り扱いには十分注意しながら、引き続き情報発信を行っていく。
スクールバスの運行は正確かつ安全に行われている	・バスなび（アプリ）導入で到着前のメール配信により待ち時間の短縮ができるようになった。 ・置き去り防止装置を設置しバスを利用する園児の安全を確保する。
課外教室が充実している	・年少・中・長園児参加の課外教室の内容が充実しており、多くの園児が喜んで通っている。 ・満三歳児クラスはリトミック教室のみで、他の教室も利用できるような検討していく。
なかよしホームは、保護者のニーズにこたえ、子育て支援の一環として利用しやすい内容となっている。	・長期休暇及び午前保育中の昼食については、お弁当と給食の選択制が導入され保護者のニーズに沿うことが出来ている。 ・就労家庭の増加、満三歳児も利用できることにより利用者が増え月極め利用児も年々増えてきている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

具体的な目標や計画に対して、教職員全体で共通理解し、自己評価し、取組み状況を通じて各人の課題を具体的に確認することができた。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
保育の質の向上	・子どもたちが主体となって安心して園生活が送れるよう引き続き取り組んでいく。 ・正課授業のさらなる充実。 ・職員会議・学年別会議においては、ファシリテーターを中心に保育の見直しを行い、保育の改善に努め、研修にも積極的に参加し保育の発展と専門性の向上を目指す。 ・子育て相談員・ソーシャルワーカー・幼児教育アドバイザーの育成など、幼児教育の専門性を高め、保護者の悩みやサポートに繋げていく。 ・満三歳児クラスでは、子どもの実態を踏まえカリキュラム内容を検討していく。
ホームページやコミュなびアプリ、インスタグラムの活用	・ホームページのリニューアルを行い、見やすく、情報などタイムリーに更新し発信していく等、本園のアピールの強化に努める。 ・未就園児対象イベントなどをホームページやインスタグラムを通じて周知し園児募集につなげていく。 ・コミュなび（アプリ）では、出欠確認・スクールバス運行・預かり保育の申込みの他、園児情報・保護者情報なども活用し管理していくようにする。
預かり保育の充実	・就労家庭の増加に伴い、預かり保育の利用者が年々多くなっている。教職員の配置や保育室の確保が難しい現状において、就労家庭の保護者からは開所日の拡充を求める声も上がっている。園児の安全管理を最優先に捉えた運営体制について、引き続き検討をしていく。

6. 学校関係者の評価

・子どもたちの食育の充実や食の安全、温かい給食への関心の高まりを踏まえ、自園給食の早期実施を求めます。 ・預かり保育では、円滑に利用できるよう工夫を重ねていき安全で安心な子育て支援となるように望んでいる。またおやつについては、市販のおやつでなく無添加のものや手作りのものなども取り入れてほしい。 ・子どもたちに多くの成功体験をさせて様々な事に挑戦する強い心を育てられるよう、

伝統を継承しつつ、新しい保育にも向上心をもって取り組んでいる。

- 保育の質の向上への期待と幼児期の教育に対する保護者の関心が高まっているので、園の特色を活かし、更なる保育の質の向上を望んでいる。
- いろいろな行事を通して子どもたちの主体性や創造性、協調性の育ちや家庭では見られない姿を見られて良かった。

・公開保育報告書

○実施日 2025 年 10 月 31 日（水）

○時 間 10：10～10：50 公開保育 11：00～11：30 交流会

○場 所 各保育室、

○対象クラス 満三歳児クラス・年少組・年中組・年長組 全クラス

○参観者 堺市私立幼稚園連盟加入園 園長

利晶学園小学校(旧はつしば学園小学校) 前校長

ニチイキッズ初芝保育園、長曾根保育園 園長

○保育内容 ・自由遊び

・朝の会

・設定保育

国際コース英語レッスン、製作、リトミック、絵本・ワーク

リズムあそび、サイエンス

○目的

本園の日常的な保育を外部に公開し客観的な評価や意見交換を通じて、保育者同士が学び合い園全体の保育の質の向上を図ること

- ・実際の保育の様子を見ることで園での子ども達の姿や保育のねらい、工夫を理解してもらえる。
- ・幼児教育に対する理解促進。
- ・職員が外部の目を意識することで保育実践を振り返り改善点を見つける機会とする。
- ・保育者同士の学び合いを通じ保育の質の向上に努める。

○当日の様子

- ・参観者がいる中でも、子どもたちはいつも通りの自然体で活動し、緊張することなく、のびのびと表現しながら友だちと協力する姿が見られました。特に英語レッスンでは、集中して取り組む様子や楽しそうな笑顔が多く見られ、日頃の保育の成果が感じられました。

○感想及び評価（一部抜粋）

- ・先生方が豊かな表現力で落ち着いて保育をされていた。
- ・学年ごとに保育内容や環境作りの工夫があり、子どもたちが主体的に活動している様子が印象的でした。
- ・先生方のチームワークのよさや、一人ひとりへの丁寧な対応が見られました。
- ・ネイティブ講師の発音やテンポが良くレッスンに子どもたちが引き込まれていて英語を学ぶというより、楽しむ姿が見られました。

○今後に向けて

今後も、子どもたちが安心して過ごせるよりよい保育環境づくりに努めてまいります。いただいたご意見は職員間で共有し、今後の保育の充実に活かしてまいります。